

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年4月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム 湧水の里
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250-8番地 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	令和5年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年5月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる湧水の里、今年はコロナ禍で行きたい所に行けなかったりしましたが、関係者の皆様に支えられお元気に行事に参加されました。春は桜の下でお花見昼食会、冬は餅つき(飾りもち)、蕎麦打ちに参加、たまには遠出を楽しみましょうと霧島が丘公園に薔薇見学にも出かけました。風光明媚な湧水の里天気良ければ毎日散歩を楽しんでいます。ホームでは毎週1回の訪問看護もあり、利用者様の状態を報告したり、掛かりつけ病院の先生による定期受診にて体調管理に努めています。どこにでもあるような暮らし「みどりのカーテンを育てよう」「ひまわり喫茶でホットケーキを焼こう」と楽しんでいます。ご家族の皆様の協力も頂き何かと楽しい我が家です。

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人とのふれあい」「地域と共に毎日を笑顔で過ごしましょう」の理念の下、ラジオ体操の後職員、利用者様全員で理念の発表行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入れていただき町内会の清掃作業時はホーム周辺の清掃作業を行っている。町内会行事の祓川棒踊りも湧水の里での披露がある。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	計画していた家族会はコロナ禍で出来なかったが年間行事計画や日常を湧水便りにて毎月郵送行っています。見学に来られる方にはグループホームについて説明して地域の皆様との関係を大事にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・消防分団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたり、コロナ禍で湧水便りや行事計画を郵送し電話での報告や意見を伺ったりした。町内会協力の消防訓練計画も出来ていたが今年はコロナ禍で施設への立ち入りはひかえたいとの事で自主訓練行った。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村との連携を密にとり高齢者虐待の資料もあり内部研修で勉強している。又新型コロナに関する注意喚起にて手洗いや消毒、換気の徹底に努めている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については定期的な勉強会を行っており言葉づかいにも気を付けている。身体拘束による弊害についても職員が理解している。鍵を掛けない工夫もし玄関を網戸にしてホーム周辺の散歩に出かけたりしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>開かれたグループホーム作りに努め、職員全員で高齢者虐待防止についても定期的に勉強会を繰り返し理解をさらに深めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員に成年後見人をしていた者がおり必要があれば活用できるよう支援できる。権利擁護に関するホーム内の研修会にも参加職員全員で勉強を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時の説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努めご家族の納得の元契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の来居時には利用者の現況を詳しく報告しています。常に声を掛け合いながら気付いたことを話し合いより質の高いサービスに努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で職員の意見を聞く場を設けており、皆で意見を出し合ってより良いグループホーム作りに結びついている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>18名満床にていいグループホーム作りが出来る事は職員も理解している。介護福祉士に合格すると職員会議で発表があり皆でお祝いの拍手が送られている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年はコロナ禍で外部研修はオンラインにて参加した。またホーム内研修では毎月勉強したことをレポートにまとめて提出している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ネットワーク作りを行っているが、コロナ禍で交流は難しくなっている。ホーム周辺の散歩時にデイサービスの職員や利用者様同士一緒になった時挨拶をしたりして交流はある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム内外の環境に慣れて頂くよう対話に努め本人の思い、困りごと、不安等に耳を傾けている。全職員が一人一人の利用者様に笑顔で挨拶から一日を始めて信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム内での様子を湧水の里便りでお知らせする事が一番喜ばれている。最初は不安も強いと思うので電話で現況をお伝えしたり、何でも話していただけるよう声掛けしながら要望等伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の本人にとって何が一番かを話し合いながらご家族、施設関係者（担当ケアマネジャー）の意見も頂いて本人ご家族にとっていい方法を考えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の食事を摂る時間を大事にしたり、ラジオ体操や散歩、洗濯物干し畳み、料理の下準備、お茶の準備と声掛けしながら出来ることを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会がなかなかできないのでホーム内にて内線で話をしてもらったり、ご家族が病院受診に付き添われたり協力頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が生まれ育った地域の知人が訪ねて来られ間隔をおき話をされお互いに涙を流されたり、本やおやつの差し入れが届いたりして喜ばれている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めている。和室では洗濯物をたたんだり、テレビで大相撲観戦したり歌番組を一緒に見ながら賑やかに過ごされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご家族から近くを通ったら寄りたくなりますがコロナ禍でそれもできませんと手紙が届いたり、退居され市外に移られる日に病院の外で面会が出来て移られる病院を教えて下さったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族の面会時には本人の現況を報告している。本人の思い家族の思いも伺いながら必要なサービスを話し合っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・ご家族も交えてこれまでの暮らしぶりを伺っている。一人一人のおおかたの生活暦は職員全員把握して本人の思いに寄り添っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の血圧、体温、食事量水分量の記録をとり体調管理に努めている。ラジオ体操で体を動かしてから本人、ご家族の希望の多いホーム周辺の散歩に出かけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者やご家族に生活の意向や、満足度を伺いながら毎月のケア会議にて話し合いをしている。ホームで落ち着いて生活できるように本人の思いに添えていくプラン作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録では皆が見て分かりやすい記録をとりファイルしている。朝・夕の引継ぎはタブレットやケース記録で情報を共有し、より良いサービスに結びつくよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍ではあるが状況をみて家族で市外まで墓参りに出かけられたり玄関から内線電話でゆっくり話をされ喜ばれている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・町内会長・消防団等の協力の下、様々な行事計画を立て、それに参加している。今年はコロナ禍で避難訓練の協力は中止になったが、何でも言って下さい出来る事は協力しますと話された。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診は入居する前から引き続きの受診をさせてもらっている。ご家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護利用時は、利用者の方々の今の状態を丁寧に説明を行っている（検温者や食事量排便等）。又利用者の方々の直接の話も聞いていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>コロナ禍で面会は難しいが電話にて病院より本人の今の状態の説明をもらったり、ご家族と連絡をとりながら入院退院に向けて話し合いは行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護度が上がったたり入院時に掛かりつけ医、本人、ご家族と相談しながら本人にとって最適な方針支援に取り組んでいる。重度化した場合の指針があり入居時に説明行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルがあり、応急手当やマニュアルの勉強会も行って実践力に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>今回はコロナ禍で自主訓練を行ったが中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。火災・地震・他災害時における近隣住民の連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	皆さん自分に自信と誇りを持って生活されているので、声掛けにも基本的な「です、ます」を使い笑顔で挨拶から1日が始まっている。人生の先輩として尊敬をもって接している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	年間行事計画でどこに行きたいか何をしたいか対話しながら決めていく。常に対話に努め本人の思いを話してもらい希望に添えるように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩が好きな方は1日に2回ホーム周辺を散策をしたり、テレビで時代劇が観たい昔懐かし歌が聴きたい等とそれぞれに好きな番組をセットし楽しんでいる。体調に応じては自室でゆっくり休んで頂いたり、一人一人のペースを大事にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎週日曜日は手足の爪切り、火曜日は白ワセリンで足のマッサージを行っている。訪問理容のボランティアもあり本人好みに髪をカットして頂いたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶の準備や配膳下膳を一緒にしたり、食事前には嚥下運動をし「いただきます」を代表が言ってから全員でいただきますと手を合わせて楽しく食事をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶、お茶ゼリー、麦茶をこまめに摂っていただき体調管理に努めている。ミキサー食の方は牛乳をつけて本人の食事量水分量をドクターや訪問看護師に報告行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの指導が有り勉強した事を活かして洗面所にて歯磨き、義歯洗浄介助の支援を行っている。またミキサー食の方は食後口腔スケアポンジで口腔内の汚れを拭き取っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	立位保持が難しいが座位が保てる方はトイレ誘導行っている。失敗時は声掛けに十分気をつけながら下着、ズボンの着替えを支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や健康体操で体を動かしたり、散歩に出かけ良く歩かれている。おやつにさつま芋を提供したり、便秘症の方はドクターに相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴準備を一緒に行ったり、お風呂の声掛けと同時に風呂上りにおやつとお茶を一緒に準備しましょうねとお願いしてお風呂が楽しくなるよう工夫している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時の状況に応じて、休息したり安心して気持ちよく眠れるよう支援している	まだ寝たくない方は文庫本を読まれてからそのまま眠りにつかれたり、21時まではとテレビをゆっくり観られたり、19時には自室に戻り横になれる方等本人のペースに合わせて休息されたり眠られている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止の為服薬時は職員間で声掛け確認をしてから飲んでもらう。内服の説明書はいつでも見られる所においてあり、職員は用法用量を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	台所仕事得意な方は台所仕事をよく手伝いをされ、それぞれ自分で出来ることに「しましょうか」と言われ参加されている。理念を言われたり今日の月日を発表していただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で外出は難しかったが、ご家族と一緒に市外へ墓参りに出かけたり、霧島が丘迄全員でバラ見学に出かけたりした。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を自分で持ってる方も最近はずっかり忘れておられる。病院受診時に売店で歯ブラシセットやヨーグルトの買い物をされる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族から電話が有ったりこちらから電話をして話をされている。ホームに来られた時内線で事務所と居間にて話をされたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>時計やカレンダーは目に付く所に掛けてあり、居間には散歩の途中摘んだ季節の花を飾ったりしている。エアコンを使用し過ぎしやすい室内温度設定にしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>話好きな利用者の方や歌好きな方、テレビ視聴される方達が居間や和室ソファ又は自室にて思い思いに過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本好きな方は文庫本を何十冊も持ってきておられ自分のペースで読まれている。また御主人の遺影と電気線香を床頭台に置かれていたり、ご家族や近所のお友達の写真もありそれぞれに自分の部屋づくりをされている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や各部屋に名札（竹）が有り自室の確認をされている。手すりは全てに設置されていて、車椅子用トイレ男性用トイレもあり大きくトイレと書いた紙も貼り付けている。居間や和室ソファにてテレビを観たり自分のペースで安心して過ごされるよう環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない